

廃棄物処理の基礎とSDGs先駆者からの講演

～第2回エコ・カレッジ～

12月8日にホテルレイクビュー水戸で、「廃棄物処理と地域循環共生圏ローカルSDGs」と題して、第2回エコ・カレッジ（職域コース）を開催しました。午前の部では「廃棄物処理法概論」の講義、午後の部では「地域循環共生圏ローカルSDGs達成を目指した取組」をメインテーマとして、3名の講師の方々から取り組み事例を紹介していただきました。

1 廃棄物処理法概論

株式会社 日立製作所 電力環境管理センタ 主任技師 鈴木良治 氏

「廃棄物処理法概論」と題し、最初に不法投棄の実状、廃棄物の分類及び処理方法等、廃棄物全般に関わる説明がありました。続いて、許可証・委託契約書・マニフェストについて具体例を示して解説していただきました。廃棄物に関する細かな法律や手順についてある程度学んだところで、最後に演習という形で実際にマニフェストをみんなで作成しました。感染対策のため、講師が巡回しつつアドバイスをを行うといったこれまでのスタイルは取れませんでした。その代わりにスクリーンを活用して全員と歩幅を合わせつつ丁寧にマニフェスト作成をサポートしていただきました。



2 地域循環共生圏ローカルSDGs達成を目指した取組

〇とんがりチーム®研究所 主宰 野口正明 氏

「地域の気候変動アクション」「気候変動の藤野学」を起点に と題して、企業ビジネス向け組織開発コンサルタント並びに市民協働の活動を行っている〇とんがりチーム®研究所についての紹介と“気候変動の藤野学”について紹介していただきました。気候変動アクション環境大臣賞を受賞するに至った経緯として、市民や活動団体を繋げ、協力し合って課題を解決するための考え方について、教えていただきました。



○エコドライブ研究所 代表 福田慎太郎 氏

「エコドライブで利益向上」というテーマのもと、エコドライブを始めた人々や、すでにエコドライブに取り組んでいる人のみならず、エコドライブについて知らない人にとっても有益な講義をしていただきました。まず初めに、講師の自己紹介を踏まえつつエコドライブを取り入れた受講者たちのアンケート内容について触れながら、エコドライブが如何にいいものか説明がありました。エコドライブは、その名のとおり、環境にやさしくエコであるというだけでなく、燃費の向上によって経済的にも優しく、事故を減らすことにもつながり、精神的ストレスの緩和すらできるという多くのメリットを知ることができました。講義の中では、ドライバーだけでなく普段運転しない人でもできるエコドライブについての解説があり、明日からでも実践できると思います。



○劇団シンデレラ 演出家 ファンキー健一（伊藤健一） 氏

「SDGsで日本を元気に」と題して、劇団シンデレラの演出・演技指導・音響・照明等のスタッフとしての目線からSDGsを日本に広めていく活動について話していただきました。劇団シンデレラの成り立ちから、活動の目的、これまでの実績について触れつつ、ミュージカル作りへのこだわりについて熱く解説していただきました。これまでの活動や実績を達成するに至ったミュージカルの力と



は「言葉だけだと難しい話も、老若男女に対してわかりやすく伝えることができる」、「見ていて、楽しく！元気になる！」という二つの利点を挙げてくださいました。多くの人々を動かし、全員で一步を踏み出すためには、まず「楽しい」と思えなきゃいけない。その感覚が長続きの秘訣だと教えていただきました。

※第2回エコ・カレッジは、8月27日開催予定でしたが、国の緊急事態宣言発令に伴って12月8日に延期しました。